

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
13	井上 保（17）	<p>1. 旧富士川町域における歴史文化の活用について</p> <p>第六次富士市総合計画が始まった。この中で基本目標の一つに「魅力を活かし人と人を繋ぐまち」が掲げられ、将来像として観光交流の推進・多彩な交流の創出が期待され、市内の観光資源・歴史文化の活用の方針が示されている。</p> <p>また、令和2年度、令和3年度において、富士市の文化財の計画的な保存と活用を推進し、文化財を地域の資源として観光等に活用していくため、富士市文化財保存活用地域計画（案）が作成された。</p> <p>これまで富士市観光基本計画（令和2年3月改訂版）の中で施策4 歴史・自然の活用として、「富士川・松野地区等の文化財の活用」が掲げられてきたが、この中では「文化財保存活用地域計画との整合性を考慮し」となっており、文化財保存活用地域計画の作成が待たれていた。</p> <p>いよいよ富士市の文化財の観光分野での活用に向け、計画が整うところとなった。この際、旧富士川町域における歴史文化の活用について、以下質問する。</p> <p>(1) 富士市観光基本計画の施策4 歴史・自然の活用において「3 富士川・松野地区等の文化財の活用」とあるが、具体的にどの歴史資源に期待するか。また、その活用に向け必要となる整備等をどのように考えているか。</p> <p>(2) 第六次富士市総合計画の基本目標6、政策分野1 観光の中で「周辺地域との広域連携を強化し、回遊性を高め、観光資源の活用を図ります」とあるが、富士川・松野地区の歴史資源の活用においてはどのように具体化が検討されているか。</p> <p>(3) 富士市文化財保存活用地域計画（案）に「文化財の保存・活用の推進体制」が示されている。地域の歴史資源の保存活動の実態との検証はどのように進められるか。富士川地区・松野地区の文化財の保存・活用に当たって、地域の活動団体との協力関係をどのように築き上げていく考えか。</p> <p>(4) 文化財の活用による交流の推進が期待されるが、その地域経済への効果、市財政への影響をどのように考えているか。また、今後の文化財の保存・活用のための費用の負担はどうあるべきと考えるか。</p>	市長 及び 教育長 担当部長